

松井喜代司教授の略歴及び主要著作目録

略歴

大正13年 4 月10日	千葉県に生まれる
昭和19年	明治大学専門部政治経済科卒業
昭和24年	明治大学政治経済学部（旧制）卒業
昭和24年	明治大学政治経済学部研究生
昭和31年	文部省大学設置審議会助教授資格取得
昭和31年	明治大学（政治学）講師
昭和36年	千葉敬愛短期大学助教授
昭和38年	千葉敬愛短期大学学生課長兼任
昭和39年	目白学園女子短期大学非常勤講師
昭和41年	千葉敬愛経済大学助教授
昭和52年	千葉敬愛経済大学教授
昭和54年	淑徳大学非常勤講師
昭和54年	学生部長（昭和62年 3 月まで）
昭和57年	千葉県私学教育功労者として表彰をされる
昭和62年	地域総合研究所長（平成元年 3 月まで）
平成 8 年 7 月	敬愛大学創立30周年記念式典実行委員長
平成10年 3 月	敬愛大学経済学部を定年により退職
平成10年 4 月	敬愛大学名誉教授
平成10年 4 月	敬愛大学経済学部非常勤講師（現在にいたる）

この間、学会活動として、日本政治学会、憲法学会、地方自治経営研究会理事、政治学、比較政治学、東洋政治学、地方自治についての研究・教育を担当する。

学生指導面の活動としては、柔道部顧問（講堂館 3 段）、詩吟部（剣舞）

顧問、写真部・野球部顧問（兼務）等を歴任。

教育面での公的活動としては、私立大学教職課程・研究連絡協議会幹事役員・訪問指導部委員、千葉県学生柔道連盟理事（昭和52年から今日に至る）、千葉県高校改編推進協議会委員（昭和63年から平成元年）を歴任。

また主な公的活動としては、昭和42から50年2期にわたり東京都中野区議会議員を勤め、所属党内では副幹事長を勤める。その間公害交通対策特別委員長、議会運営委員、総務財政委員、文教委員など歴任。また読売新聞ブレンとして平成9年4月より活躍。

コミュニティにおける活動としては、千葉市公民館運営審議会委員・常任理事（平成2年から現在にいたる）、千葉市美浜区フェスティバル実行委員を勤める。

主要著書ならびに主要論文

著 書

- 昭和39年 『愛国心について』共著（日本文化学術 叢書）日本文化
連合会
- 平成6年 『東洋政治学要綱』敬愛大学研究叢書第4号、敬愛大学経
済文化研究所

論 文

- 昭和43年 「幕末における政治思想の一論稿」敬愛大学研究論集第1
号
- 昭和47年 「東洋思想の政治的思想的特質」敬愛大学研究論集第6号
- 昭和50年 「地方政治の現状とその将来に対する若干の考察（1）」
敬愛大学研究論集第9号
- 昭和51年 「地方政治の現状とその将来に対する若干の考察（2）」
敬愛大学研究論集第10号